

■米国：テキサス州公益事業委員会が ERCOT の卸電力価格上限倍増を承認

2012年10月25日付の業界紙によると、テキサス州公益事業委員会（PUCT）はテキサス電力信頼度協議会（ERCOT）管内の卸電力価格上限を現在の4,500ドル/MWhから9,000ドル/MWhに引き上げることを承認した。価格上限の引き上げは段階的に実施され、2013年6月から5,000ドル/MWh、2014年6月から7,000ドル/MWh、2015年6月から9,000ドル/MWhとなる。2011年の夏は予備力の著しい低下が指摘され、ERCOT管内は将来計画で必要予備率13.75%を確保できない見通しで、安定供給対策が急務となっていた。今年6月には上限価格を3,000ドルから4,500ドルに引き上げた（8月実施）ばかりであり、今回の価格上限引き上げはその追加措置である。上限引き上げにより発電設備の建設促進を狙っているが、PUCTは「対策後も8~10%程度しか予備力は確保できない」としており、更なる対策が必要な状況である。